

2018年度（平成30年度）

研究部門名 化学研究部門

講座名 基盤物質化学講座

教員名 勝田 正一

電子メール katsuta 理 faculty.chiba-u.jp

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・ 号	頁	発行・発表 年等	掲載論文のDOI(付与されて いる場合)
(1)	<u>T. Hamamoto</u> , <u>S. Katsuta</u>	An ionic liquid-based microextraction method for ultra-high preconcentration of paraquat traces in water samples prior to HPLC determination	Anal. Sci.	34・ 12	pp. 1439-1444	2018	10.2116/analsci.18P369
(2)	<u>S.Katsuta, J.</u> <u>Tamura</u>	Extraction of palladium(II) and platinum(IV) from hydrochloric acid solutions with trioctylammonium nitrate ionic liquid without dilution	J. Solution Chem.	47・8	pp. 1293-1308	2018	10.1007/s10953-018-0745-9

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 3名
- ・大学院修士 1名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

なし

(4) 国際会議出席と招待リスト

なし

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体，報道年月日，報道内容等）

なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名，その内容，受賞理由等）

なし

(7) 国際共同研究（共同研究名，研究内容等）

なし

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動，学会、国、県などへの協力，など

- ・委員会などの名称とその役割を記載：書式自由
- ・日本溶媒抽出学会，理事
- ・日本ポーラログラフ学会，評議員
- ・(公社) 日本分析化学会，関東支部常任幹事
- ・(公社) 日本分析化学会，第 68 年会実行委員会委員
- ・National Science Centre (Poland)，グラント審査委員

(9) 特許（発明者名，発明の名称，出願日，出願番号，整理番号等）（現時点で公表できるもののみ）

なし

(10) その他

・依頼講演「イオン抽出溶媒としてのイオン液体の特性と応用」，第 15 回茨城地区分析技術交流会，水戸（2018 年 12 月 7 日）

・依頼講演「イオン液体抽出系における溶媒効果」，鈴木信男先生記念シンポジウム，仙台（2018 年 9 月 11 日）